

糖尿病事業(DM事業)の戦略的方向性

2021年5月12日

テルモ株式会社

代表取締役社長CEO

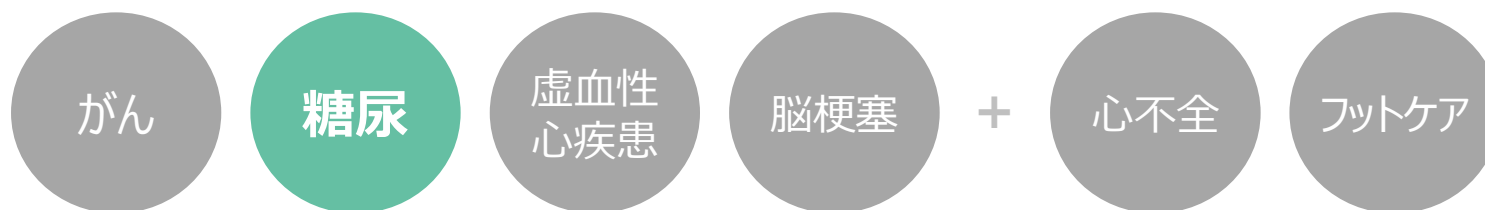
佐藤 慎次郎

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

社会的課題の大きい4大疾病に対し「疾病軸」で取組む

- 高齢化により、社会的にも重大なインパクトをもつ疾病をターゲット



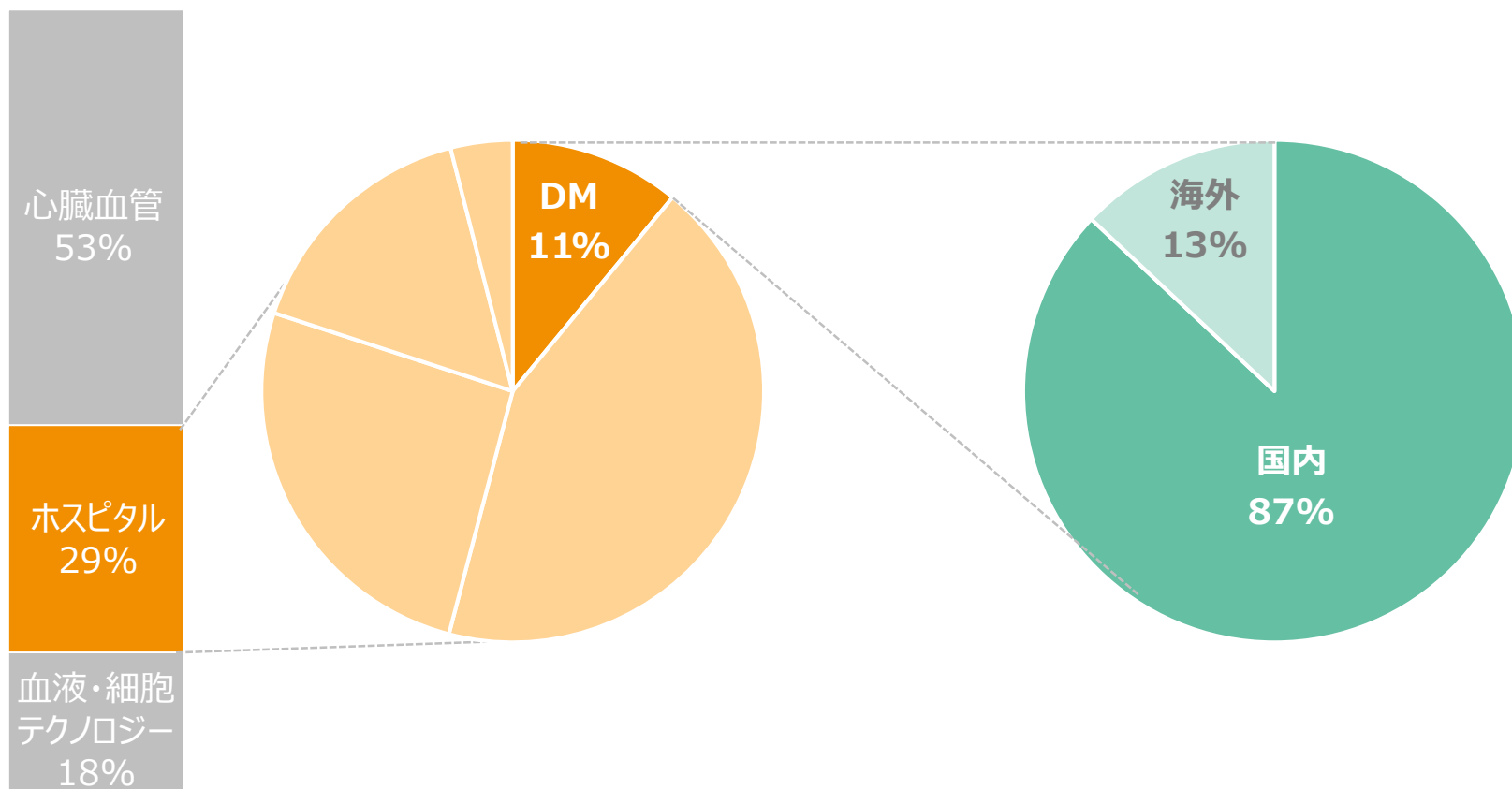
- ピンポイントの診断・治療でなく、予防から予後までカバーする統合的ソリューション



DM事業：現状は未だ小さく国内中心

年間売上 約200億円の
ホスピタルカンパニーの事業

これまで国内中心に
事業を展開



新中期では、品揃えを武器に統合的ソリューション展開



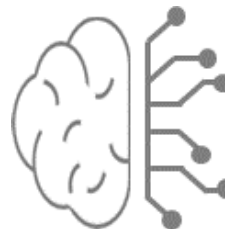
デジタルやAIを活用しDM事業の成功要因を進化



デジタル



クラウド



AI



従来の成功要因：製品軸の性能

- 血糖値の測定精度
- 血糖値の高精度なリアルタイム連続測定
- 生体適合性（針やカニューレ等）

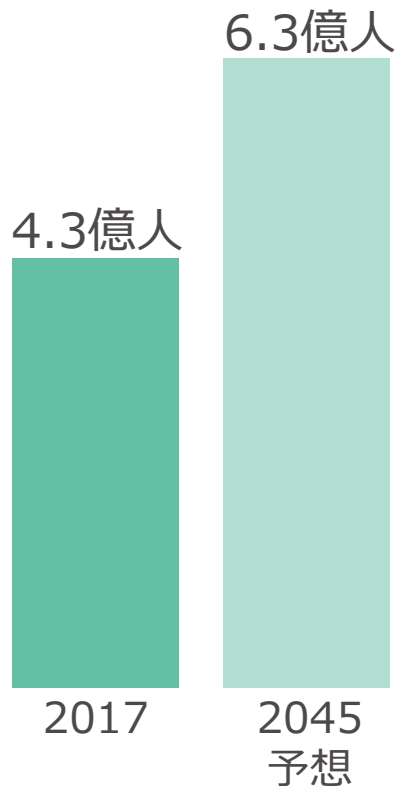
+

新しい成功要因：ソリューションの価値

- 豊富な患者データの蓄積および高度活用
- リアルタイムの的確な管理ツール提供
- OutcomeとQOLの向上

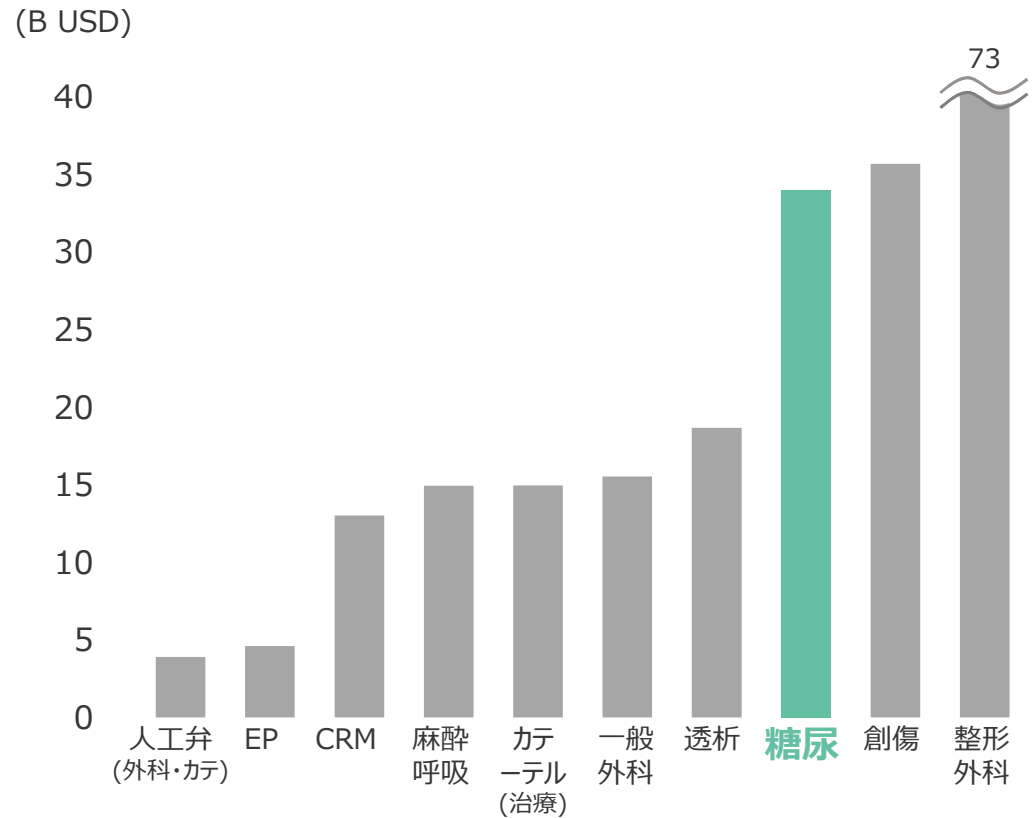
DM市場：巨大な医療機器セグメント

■ 患者数: 増加を続け6億人超に



参照：IDF Diabetes Atlas 2017, For patients aged 20-79 years

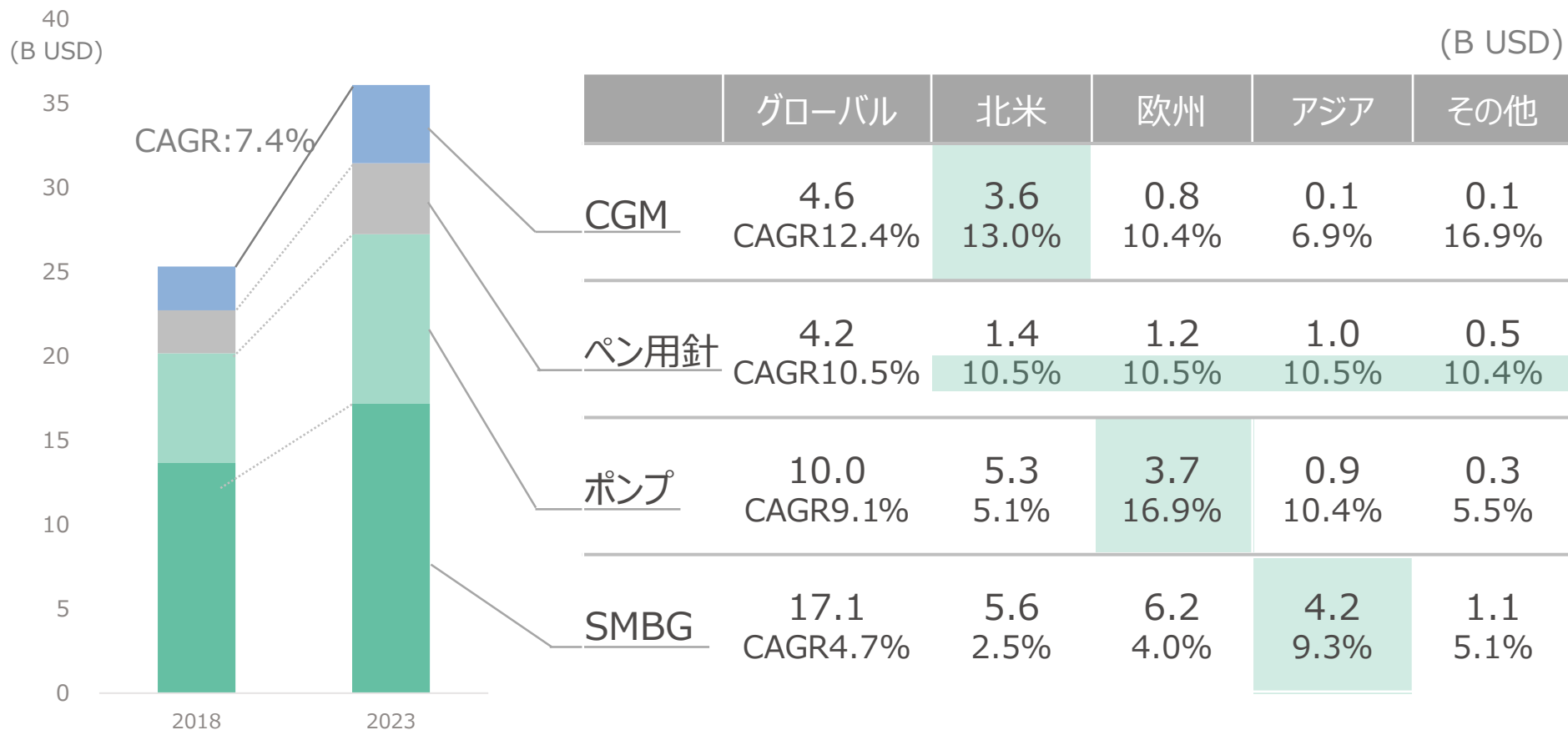
■ 医療機器市場におけるDM市場の規模感



参照：テルモ調べ 2019

DM市場：主要製品群で7%超の成長。製品ごとに地域特性

■ SMBGはアジア、ポンプは欧州、ペン用針は世界均一、CGMは米国が伸びる

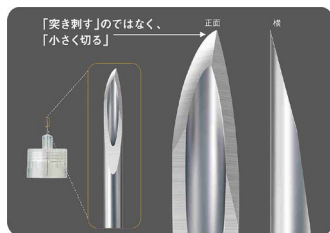


参照：Frost & Sullivan 2019

内部開発と提携で世界トップレベルの品揃えを実現

ペン用針

- オンリーワン技術



ナノパスニードルⅡ
NANOPASS®

CGM

- グローバルNo.1の技術と信頼



dexcomG6

ポンプ

- チューブレスで高い投与精度とQOLを実現



MEDISAFE WITH™

インスリンポンプ：チューブあり製品と同等の投与精度を実現

MEDISAFE WITH™



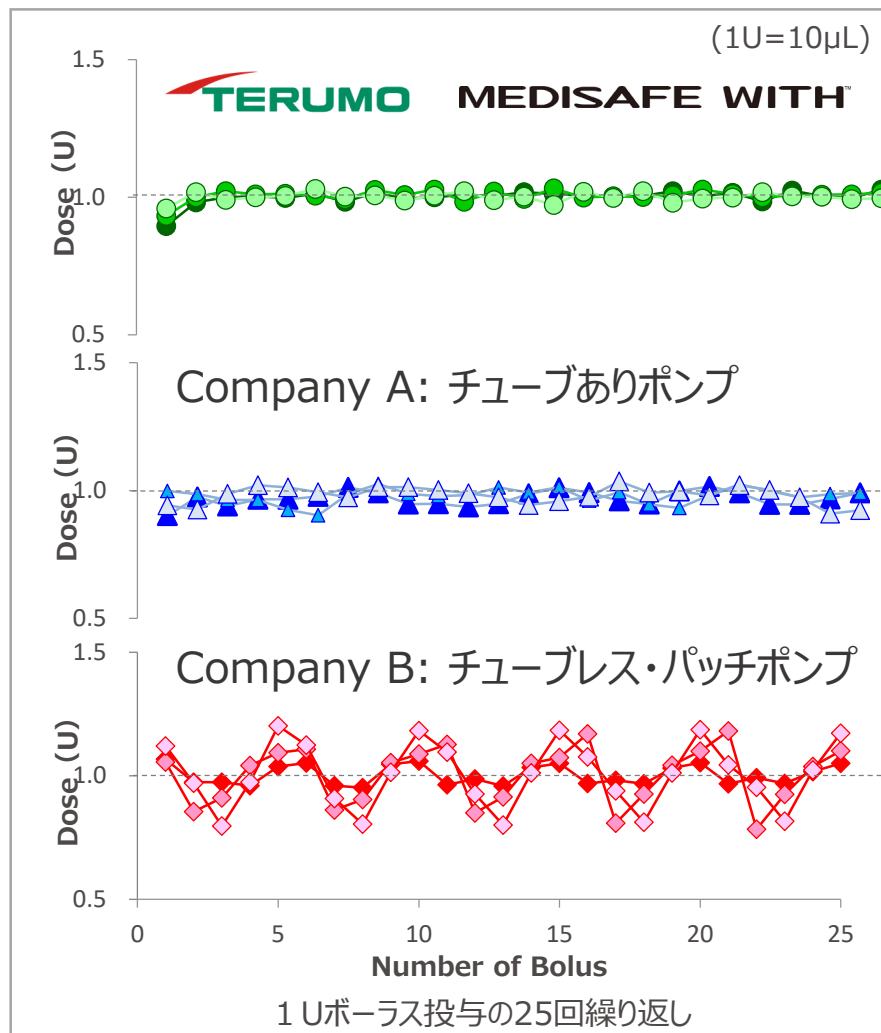
独自の高精度精密投与技術を搭載

(JDST Vol.15、ATTD学会にて発表)



患者さんのQOLに配慮したチューブレス

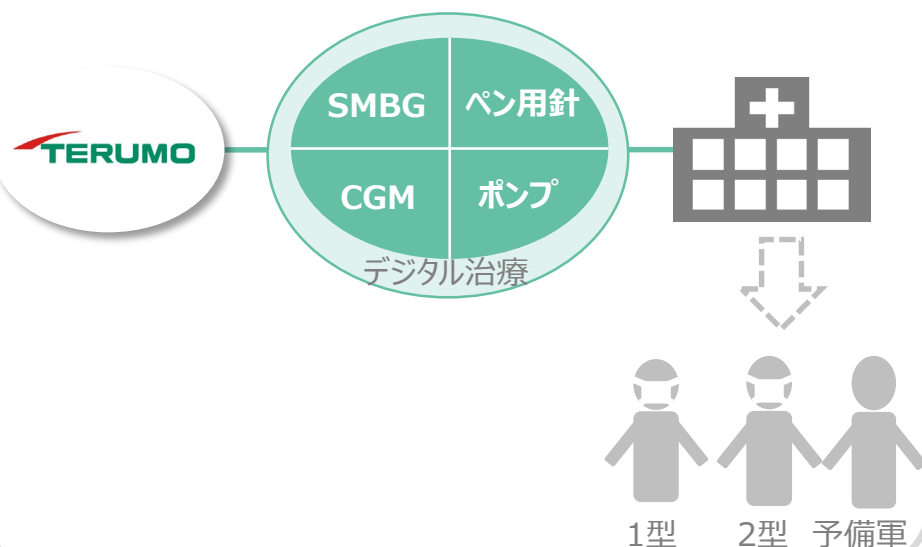
インスリンの投与精度の比較



地域特性を踏まえてグローバル展開を目指す

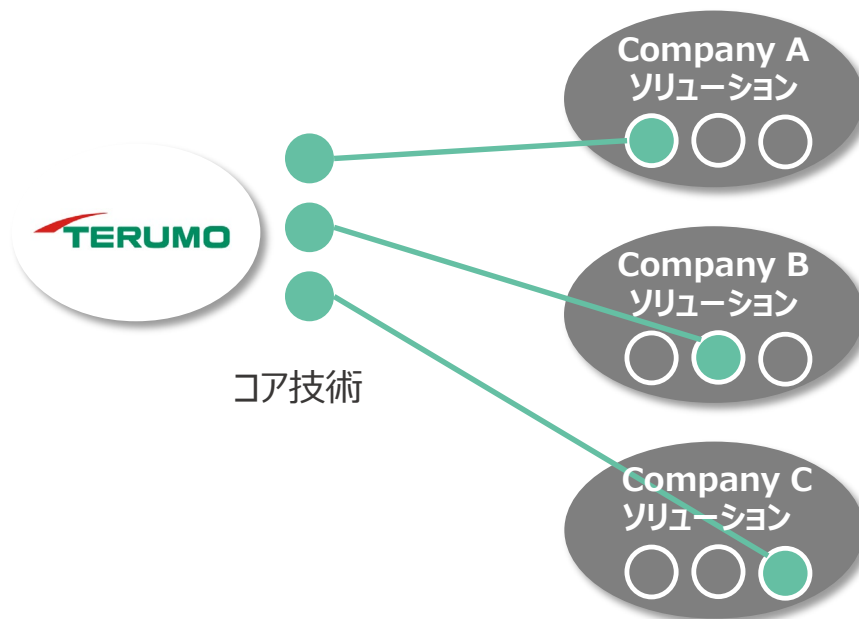
国内：フルライン型

テルモが有する**強固な病院基盤**を通じて
患者タイプごとのソリューションを提供



海外：特化型

海外企業のDMソリューションにテルモ独自の
コア技術を組み込む**B2B型**を基本に拡大



他社連携によるソリューション提供で個別化を加速

■ 米Glooko社と連携

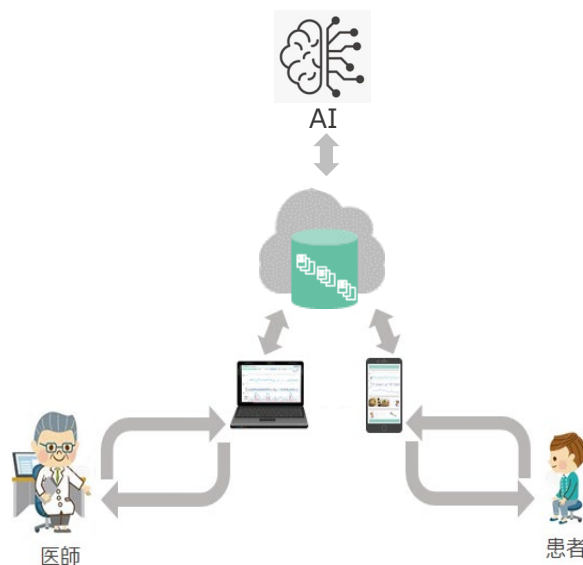
SMBGやポンプなどの測定情報が管理できる**情報管理システム**



glooko®

■ 日MICIN社と共同開発

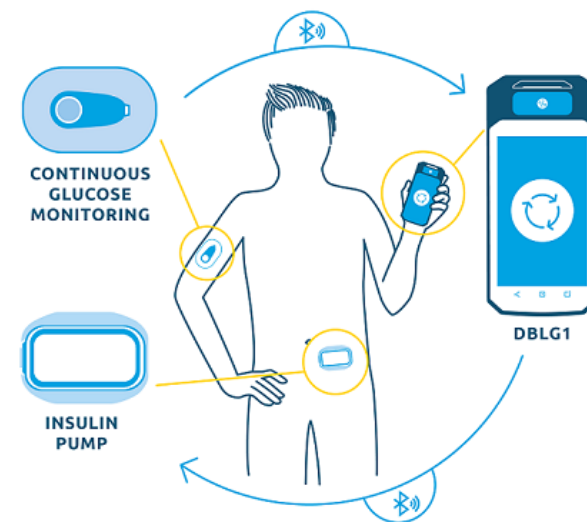
血糖値・食事・運動・服薬等の情報を基とした**デジタル治療支援システム**



MICIN

■ 仏Diabeloop社と共同開発

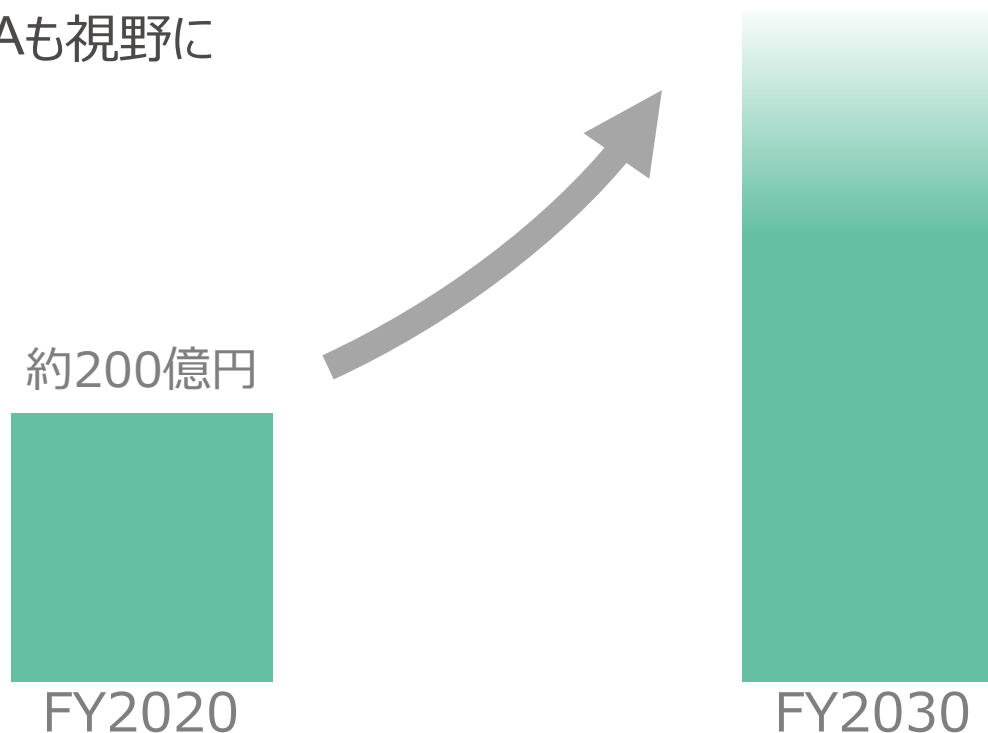
適切な投与量を算出しCGMとポンプを連動させる**インスリン自動投与制御システム**



diabeloop

10年後に500億円に迫る売上収益を目指す

- 地域特性を踏まえた戦略的なグローバル展開
- 特徴あるコア技術と顧客基盤をベースに他社提携による機会獲得
- Patient Journeyに寄り添う統合的ソリューションの開発加速
- 将来的にはM&Aも視野に





Stride Ahead
100th